

ソースネクスト株式会社 2017年3月期第2四半期 連結累計期間事業報告書

2016年4月1日～2016年9月30日



ごあいさつ



ソースネクスト株式会社
代表取締役社長
松田 憲幸

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととご拝察申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1996年の創業以来、製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げることがミッションに、お客様のご期待にそえる製品の企画・開発に注力して参りました。近年は成長著しいスマートフォンアプリの企画・開発を積極的に拡充し、従来のパソコンソフトと併せて、お客様のニーズや時代に合った新しいビジネスの創造に努めました。当第2四半期連結累計期間は、ハガキ作成ソフトの拡充及び国内主要キャリアや格安スマホ・SIM関連事業者へのアプリの提供に注力いたしました。これにより、第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益は、過去最高の業績となった2016年3月期上期を超えて、4年連続で過去最高となりましたことをご報告申し上げます。これもひとえに、株主の皆様のお励ましとご支援のおかげと感謝の念に堪えません。

当社は、今年8月をもちまして創立20周年を迎えました。株主の皆様のご多大なご支援に深謝申し上げるとともに、引き続き、社名の由来でもある「次の常識をつくる」をスローガンとし、製品を通じて世界中の人々に喜びと感動を広げるべく、お客様視点で世界市場への展開を目指して参ります。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年12月

会社情報

会社の概況	(2016年9月30日現在)
商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒105-7133 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター 33階
資本金	1,771百万円
従業員数	100名(臨時社員5名)
事業内容	パソコン・スマートフォンソフトウェア及び ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の内訳 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	松田 憲幸
代表取締役副社長	松田 里美
取締役	小嶋 智彰
取締役	青山 文彦
社外取締役	生田 正治
社外取締役	高澤 廣志
社外取締役	久保利 英明
常勤監査役	高野 正三郎
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	高野 角司

株式の内訳 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	90,280,000株
発行済株式の総数	31,732,000株
株主数	4,501名

企業理念

社名の意味
「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション
製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

行動指針
真剣に取り組む
ポジティブに考える
感性を磨く

ビジョン
世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい
喜ばれる
面白い

スマートフォンアプリ

大手3キャリアのすべてにアプリを提供

スマートフォンの3大手通信事業者(キャリア)すべてのアプリ使い放題サービスに採用され、のべ77タイトルを提供しています。

提供開始	キャリア	サービス名	提供アプリ数
2012年3月	KDDI(株)	「auスマートパス」	34
2013年6月	(株)NTTドコモ	「スコ得コンテンツ」	23
2014年8月	ソフトバンク(株)	「App Pass」	27

(2016年11月時点)

使い放題サービス

アプリケーションの新しいあり方

当社は、幅広い分野の数多くのアプリケーションを扱う特長を活かして、定額使い放題サービスにも注力しています。自社製品として販売するだけでなく、積極的なOEM提供により幅広い業種に販路が広がっています。

サービス名	用途・対象	提供先
「超ホーダイ」	パソコン用	インターネットプロバイダー、ケーブルテレビ会社 格安スマホ販売事業者、パソコンスクール、
「アプリ超ホーダイ」	スマホ用	スマホ・パソコン販売業者 など



100種類を超える有料のスマホアプリが、低料金で使い放題となるサービスです。



性能世界一のウイルス対策ソフト「スーパーセキュリティ」と、120本以上の一般ソフトが使い放題のサービスです。

新サービス

聞くだけでなく、読める留守番電話サービス

2016年5月より、独自の留守番電話サービス「スマート留守電」をスタート。従来のようにセンターに電話して再生しなくても、その場で内容がつかめます。しかもメールでも音声とテキストで伝言を受け取り、連絡先がない番号でも名前を表示できます。画期的なサービスで、着実にユーザーを増やしています。



スマート留守電
Android
iOS



まさにはらと
タック宅配便の

ユーザーサービス

1,300万人を超えるご登録ユーザー

ソースネクスト製品を購入し、ご登録されたユーザー数は、のべ1,300万人を超えています。サイト上でのアフターサービスやユーザー割引などを充実させ、リピーターの拡大に注力し、現在では当社の最も大きな収益源となっています。



ユーザーへの製品講習会を実施

初心者を対象とした、ソフトの使い方や操作方法を学べる製品講習会を随時開催しています。そこでのふれあいを通して得たお客様の生の声を、製品の改善にも積極的に活用しています。

年賀状シーズン直前の「筆王」講習会(11月)



パソコンソフト

新OS「Windows 10」で、ビジネスチャンスを広大

マイクロソフト社が2016年7月末まで実施した新OS「Windows 10」への無償アップデートにより、当社のウイルス対策ソフト・ZEROシリーズが好調に推移しました。それに伴い変更した「端末固定・期限なし」の新ライセンスポリシーも好評を博しています。



ZEROウイルスセキュリティのべご愛用者数970万人突破。累計3,000社以上の企業にご導入いただいています。



ZEROスーパーセキュリティ AV-Comparativesの「トップレイトド2015」、AV-TESTの2部門で年間アワードを受賞したビットディフェンダー社のエンジン搭載製品です。



「ロゼッタストーン」の24言語を販売



2016年6月からは当社サイト上で、有名な言語学習ソフト「ロゼッタストーン」の販売を開始。母国語を一切使わない独自のメソッドで、言語別に24種類を揃え好評です。

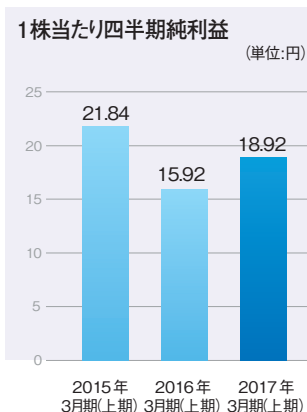
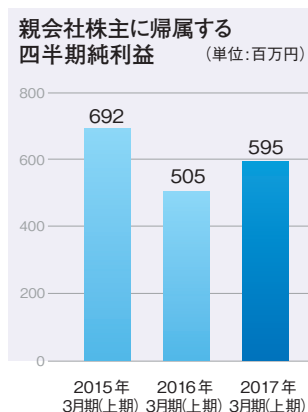
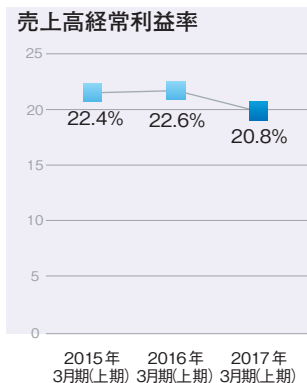
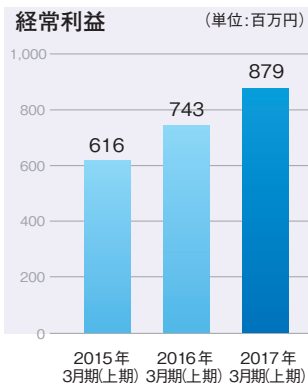
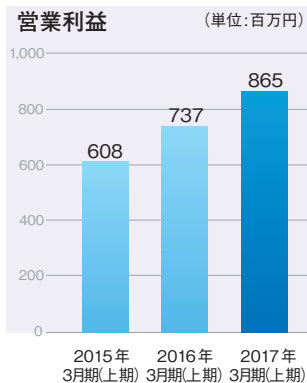
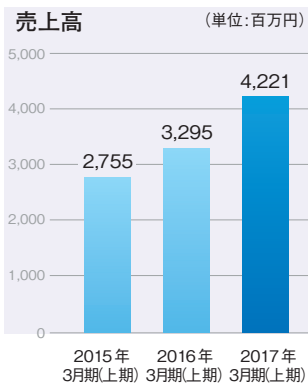
「筆まめ」の取り扱いを開始

株式会社筆まめの年賀状作成ソフト「筆まめ」の独占販売権を取得、2016年9月から店頭、webにおいて販売を開始しました。これで「筆王」、「宛名職人」と合わせて、ハガキ作成ソフトで約8割のシェアを持つに至りました。



財務ハイライト

四半期連結業績推移



当期の概況

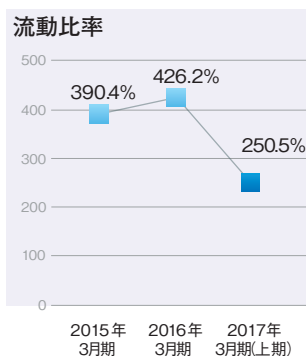
当第2四半期連結累計期間(2016年4月1日～2016年9月30日)は、Microsoft社の新OS「Windows 10」対応版のパソコンソフトや、年賀状シーズン到来に先駆けたハガキ作成ソフト、及びスマートフォン向けアプリの拡充に注力して参りました。

パソコンソフトでは、「Windows 10」無償アップデート終了後の売場拡充策として、当社の創業20周年やセキュリティソフト「ZERO」の発売10周年を企画したキャンペーンを開催しました。ハガキ作成ソフトでは主力製品の「筆王」、4月に取得したMac用「宛名職人」に加え、株式会社筆まめの「筆まめ」を店頭市場にて独占販売することで、販売本数を増やし、売上に大きく寄与しました。

その他、自社eSHOPでは、「Windows 10」対応版ソフトに加え、語学学習ソフト「ロゼッタストーン」など、他社の人気ソフトの拡販に努めました。

スマートフォン向けアプリ市場では、前年に続き国内主要3キャリア(ドコモ・au・Softbank)のAndroidアプリ使い放題サービスにコンテンツを提供し、既存製品のバージョンアップと新製品の拡販に努めました。5月に発売した「スマート留守電」は、留守番電話がテキストで読める次世代のアプリとして、好評いただいております。

その結果、営業利益は8億65百万円(前期比17.3%増)、経常利益は8億79百万円(前期比18.2%増)となり、上期としては、4年連続で過去最高益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は5億95百万円(前期比17.8%増)と、前期比較で10%以上の増益となりました。



四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

2016年9月30日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	5,007,843	流動負債	1,998,981
固定資産	1,934,117	固定負債	23,252
有形固定資産	310,960	負債合計	2,022,233
無形固定資産	1,123,211	純資産の部	
投資その他の資産	499,945	株主資本	4,870,170
		その他の包括利益累計額	△540
		新株予約権	50,097
		純資産合計	4,919,726
資産合計	6,941,960	負債純資産合計	6,941,960

四半期連結損益計算書

2016年4月1日から2016年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
売上高	4,221,405
売上原価	1,237,738
売上総利益	2,931,134
販売費及び一般管理費	2,065,274
営業利益	865,859
経常利益	879,399
税金等調整前四半期純利益	866,229
法人税等合計	270,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	595,421

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2016年4月1日から2016年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△586,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,186,990


資本政策と通期の見通し

上期では、自己株式の取得を行いません。当社では、1株当たりの株主価値の向上を図るとともに、M&A及び業務提携への活用など、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の一環として、自社株式を取得することを目的としております。これにより、当社の保有自己株式数は、772,006株(発行済株式総数に対する割合 2.43%)となりました。

2017年3月期の通期連結業績は、売上高80億90百万円(前期比15.2%増)、営業利益15億52百万円(前期比7.4%増)、経常利益15億62百万円(前期比6.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益10億77百万円(前期比8.7%増)を予想しております。

配当につきましては、普通配当の予想配当性向15%(1株当たり5円9銭)に、創立20周年の記念配当1円を加えた、年間6円9銭(配当性向17.9%)を予定しております。今後も引き続き、知的財産権を積極的に取得すること、多様な販売チャネルを活かして販売を強化するとともに、新規ユーザーの獲得とマーケットの拡大に繋げて参ります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先)  0120-782-031 (インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html (株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について) 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 (特別口座について) 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	電子公告の方法により行ないます。 (http://sourcenext.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	4344
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部



ソースネクスト株式会社
〒105-7133
東京都港区東新橋1丁目5番2号
汐留シティセンター33階
tel. 03-6254-5231(代表)

●Windows及びWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●iPhone、iPadはApple Inc.の登録商標です。●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. セキュリティの「ZERO」シリーズです

「ウイルスセキュリティ」のご愛用者は、累計970万人(※)を超えています。
(※)2016年11月時点

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績・配当性向、及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。2016年3月期は、配当性向を15%として還元いたしました。2017年3月期は配当性向15%に加え、創立20周年を迎えることから、ご支援いただきました株主の皆様へ感謝の意を表するため、記念配当(1円)を実施する予定です。今後も、経営状況を勘案しながら、安定的に配当する方針を堅持して参ります。

Q. 今後の事業戦略は？

A. スマホアプリとパソコンソフトの資産を活かし、多様な販売チャネルを維持・成長させていきます

Windows10関連製品を始めとする既存製品の拡販と、IP(知的財産権)取得による新製品の市場への投入を積極的に行ないます。また、ワールドワイド展開を想定した製品の多言語対応や海外での販売開始も視野に入れた活動を行なっていく予定です。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. はい、コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしています。さらに法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる「企業倫理ホットライン」を設置、運営しています。